

論文博士学位申請手引

1. 申請資格

[申請資格]

(1) 学位の授与を申請できる者は、以下のとおりである。

ア i 又は ii に該当し、研究歴のうち2年間以上は、本学大学院医学研究科専任教員、特任教員及び病院教員、本学医学部附属病院臨床研究医、本学大学院医学研究科研究生又は医学研究科学生であった者

i 日本の大学の医学、歯学、薬学又は獣医学（修業年限6年）の課程を修了した者
6年以上の研究歴を有すること（基礎医学、臨床医学の区分は無い）

ii i 以外の日本の大学の課程を修了した者

8年以上の研究歴を有すること（基礎医学、臨床医学の区分は無い）

イ 日本学術振興会「論文博士号取得希望者に対する支援事業」による海外研究者

ウ 研究科教授会がアと同等以上の研究歴を有すると認めた者

(2) (1)の研究歴は、次に掲げる研究期間とする。

ア 本学大学院医学研究科専任教員、特任教員及び病院教員、または医学に関係のある大学の専任教員として研究に従事した期間

イ 医学に関係ある大学院に在学した期間

ウ 大学医学部あるいは大学院医学研究科にて研究生又はそれと同等以上と認められる資格で研究に従事した期間

エ 本学医学部附属病院において臨床研究医として研究に従事した期間

オ 博士課程を標準修業年限以上在学し、原則として3年次に中間発表を終了している者が退学した後、本学医学部研究員として研究に従事した期間

カ H27年度以前に博士課程に入学した者が修業年限内に単位修得退学した後、本学医学部研究員として研究に従事した期間

キ 次の研究施設において専任職員として研究に従事した期間

i 医学に関係のある国立、公立の研究機関及び衛生行政機関

ii 医学に関係のある財団法人又は社団法人の研究所等で、研究科教授会が i に掲げる研究施設に準じると認めた施設

ク その他、研究科教授会がア～オと同等以上の方法により研究に従事したと認める期間

[申合せ事項]

① 本学大学院医学研究科又は医学部附属病院の技術職員で、次の各項目をすべて満たす者は、
[申請資格] (1)ウにより申請できる。

ア 本学大学院医学研究科又は医学部附属病院の技術職員の期間を10年以上有していること

イ 4年制大学又はそれと同等以上の学歴を有すること

ウ 学位授与申請論文の内容と関連する学会（医学会に加盟していること）の会員歴を継続して8年以上有していること

エ 学位授与申請論文と同一領域の原著論文が、学位授与申請論文以外に3編以上あること

2. 学位論文

本学の研究に係る身分を有していた期間に作成された論文

(1) 単著論文は、次の各号の要件を満たすこと。

ア 原著論文

イ 査読付きの欧文専門学術誌に掲載（電子媒体による掲載を含む。）された論文又は掲載を予定されている論文

(2) 共著論文は、次の各号の要件を満たすこと。

ア 原著論文

イ 査読付きの欧文専門学術誌に掲載（電子媒体による掲載を含む。）された論文又は掲載を予定されている論文

ウ 学位申請者が当該論文の筆頭著者。但し、筆頭著者が複数となる場合、共著者からの承諾・誓約書と指導教員による理由書を提出し大学院教務委員会での協議が必要なため、事前に申し出ること

3. 外国語試験

(1) 申請者は、学位授与申請以前にこの試験に合格していなければならない。

ただし、医学研究科博士課程を退学し博士の学位授与を申請するものにあつて、退学後4年以内に学位論文を提出したときは、試問を免除することができる。（学位規定第8条—4）

4. 学位申請前手続

(1) 学位申請資格調査のため、学位申請予定日の2か月前までを目途に以下の書類を医学部事務課大学院担当（医学部研究棟1階）に提出する。

ア. 履歴書（2通）

i 報告番号は記入しない

ii 氏名は戸籍と同じ書体

iii 外国人の生年月日は西暦で記入

iv 本籍は都道府県名のみ記入、外国人は国籍を記入すること

v 学歴、研究歴の期間は証明書等で確認のうえ正確に記入すること

（学部の卒業年月日は卒業証明書に記載されているものを記入する）

vi 11ポイント程度を用いて作成

vii 作成日付は、書類提出日を記入すること

イ. 卒業証明書（1通）

i 本学医学部卒業の場合は不要。但し、履歴書に記載する入学・卒業年月日は医学部事務課大学院担当（医学部研究棟1階）で確認すること

ii 大学院修了者は、大学卒業証明書と大学院修了証明書を提出

iii 大学院の在籍期間のある者（中途退学者等）は、大学卒業証明書と大学院在籍証明書を提出すること

（注）証明書発行日は、申請日の前3ヶ月以内のものに限る

ウ. 研究歴証明書（1通）

i 本学医学部の研究員証明書は、医学研究推進課へ請求すること

ii 研究所等の研究期間証明は、身分・期間などが判明する証明書を研究機関長名で証明のこと

（注）証明書発行日は、申請日の前3ヶ月以内のものに限る

エ. 業績目録（1通）

（注）医学、歯学及び獣医学（修業年限6年）の課程を修了した者は必要としない

(2) 医学部事務課大学院担当より調査結果の報告を受け、「資格あり」と認定された場合は学位申請を行うことができる。

5. 学位申請・審査・授与手順

(1) 学位申請は、「資格あり」の認定を受けた後、速やかにかつ同年度1月の所定の期間までに医学部事務課大学院担当（医学部研究棟1階）に学位申請書類をそろえて提出する。

(2) 郵送で申請の場合は、所属分野教室を経由して医学部事務課大学院担当へ提出する。（代理人による提出も可。）

(3) 毎月第1週の月曜日までに申請された学位申請は、教授会に受理を付議する。

学長までの決裁ルートには複数の部署を通るため、日にちに余裕をもって申請を行うこと。

(4) 教授会で受理された申請は、同日の教授会で論文審査委員が選出され、概ね3週間以内に学位審査が行われる。審査日時は、論文審査委員会主査より申請者に連絡される。

(5) 論文審査委員会による審査が終了し、学位授与報告書が提出された後、教授会にて審査結果の報告と学位授与の判定が行われる。

(6) 教授会で合格の判定がされたものについては、学位が授与される。なお、学位の授与日は医学研究課博士課程学位審査内規第16条に定める通りとする。

（学位申請・審査日程の例）

第2週月曜日 資格調査書類を医学部事務課大学院担当へ提出

第4週月曜日 資格調査結果を医学部事務課大学院担当で聞く

翌月第2週月曜日 学位申請書類を医学部事務課大学院担当へ提出

第4週火曜日 学位申請受理（教授会）

↓ 概ね3週間内に審査が行われる

翌翌月第1週月曜日 学位授与報告書を医学部事務課大学院担当へ提出（メール）

第2週火曜日 学位審査（教授会）

6. 学位申請書類

学位申請期日までに以下の書類をすべて揃えて医学部事務課へ提出すること。

※①②③⑥⑦⑧⑪は[医学研究科オリジナルウェブサイト](#)からダウンロードして使用すること

① 学位授与申請書	1通
② 履歴書	4通
③ 論文目録	5通
④ 学位論文	6部
⑤ 参考論文	各編5部
⑥ 論文内容の要旨	5部
⑦ 承諾書・誓約書 (共著論文の場合)	1通
⑧ 研究分担報告書 (共著論文の場合)	5通
⑨ 外国語試験合格証明書	1通
⑩ 業績目録	1通
⑪ データファイル	(Boxによる)

7. 書類作成要領

※すべての書類は一部ずつ左上の端をホッチキス止めし、提出すること。

① 学位授与申請書

ア 申請年月日は記入しないこと

イ 氏名は戸籍と同じ書体とすること

(注) 結婚等で申請者氏名と論文著者名とが異なる場合は、同一者であることを証明する文書等を1通提出すること(指導教授の証明で可、様式自由)

② 学位授与申請書

ア 報告番号は記入しない

イ 氏名は戸籍と同じ書体

ウ 外国人の生年月日は西暦で記入

エ 本籍は都道府県名のみ記入、外国人は国籍を記入すること

オ 学歴の期間は確認のうえ正確に記入すること

カ 11ポイント程度を用いて作成

③ 論文目録

ア 共著論文は、共著者名を記入すること

イ 学位論文が印刷公表されていない場合は、採用 (accept for publication) 又は印刷中 (in press) の現況を記載すること

ウ 参考論文は、1編以上3編以内で記載すること

エ 11ポイント程度を用いて作成

オ 学位論文および参考論文のタイトルは、正しく記入すること(大文字・小文字、斜体、等の表記を公表されるものに合わせ、単語の省略はしない。)

④ 学位論文

ア 論文が印刷公表されていない場合は、最新の原稿で提出すること

但し、採用 (accept for publication) 又は印刷中 (in press) が証明できる書類を6部添付すること。書類を外国等に依頼する場合、学位申請までに時間がないときはFAXのPDF等を印刷したものを代用して提出してもよい

イ 論文博士としての研究歴に係る身分を有していた期間に作成された論文とする

ウ 1部ずつ左上1か所をホッチキスで留めること (両面印刷可)

⑤ 参考論文

ア 申請者が関わった原著 (症例報告、Article、Letterを含む)、総説、著書等とし、言語の別は問わない (ただし、原著以外は申請者が筆頭の場合)。学会抄録やプロシーディングは参考論文として認めない。内容は学位論文に関係がなくてもよい

イ 別刷が不足する場合は、コピーで提出すること

ウ 本学の研究に係る身分を有していた期間に関わった論文とする

エ 1部ずつ左上1か所をホッチキスで留めること (両面印刷可)

⑥ 論文内容の要旨

ア 研究の目的・方法・結果等について、学位論文の概要が把握できるよう2000字以内に内容をまとめること。但し、図、表及び写真は挿入しないこと

イ 表紙、中表紙、本文の順に左上1か所をホッチキスで留めること (片面印刷)

ウ この文書は、博士学位論文の要旨集作成原稿となるので、誤字等の無いよう注意すること

エ 学位論文のタイトルは、正しく記入すること (大文字・小文字、斜体等の表記を公表されるものに合わせ、単語の省略はしない。)

⑦ 承諾・誓約書

ア 共著者1名につき1通とする (和文か英文のいずれか)。書類を外国等に依頼する場合、学位申請までに時間がないときは、PDF等を印刷したものを代用して提出してもよい

イ 学位論文のタイトルは、正しく記入すること (大文字・小文字、斜体等の表記を公表されるものに合わせ、単語の省略はしない。)

⑧ 研究分担報告書

ア 学位論文にかかる研究において、申請者、共著者が担当した内容をまとめ、別紙様式に従い各自作成 (A4) すること。記載方法は自由で箇条書きにしても良い

⑨ 論文博士外国語試験合格証明書

ア 前もって医学部事務課大学院担当へ請求すること

⑩ 業績目録

ア 論文、学会発表毎に年代順に記載 (A4) し、申請者氏名にアンダーラインを引く

＝業績目録記載方法＝

[1] 原著、著書、総説その他、学会発表毎に作成。左上に原著等のタイトルを付す。

- 原 著・・・欧文と和文に区分
 - ①番号（年度順） ②著者名及び共著者名 ③論文題名 ④発表誌名
 - ⑤巻・頁 ⑥発行年
- 著 書・・・欧文と和文に区分
 - ①番号（年度順） ②著者名及び共著者名 ③書名（分担の場合はその題目）
 - ④発行所名 ⑤頁 ⑥発行年
- 総説その他・・・総説とその他に区分し、欧文と和文に区分
原著と同様
- 学会発表・・・国際と国内に区分
 - ①番号（年度順） ②発表者名及び共同発表者名 ③演題名 ④学会名
 - ⑤発表年月日 ⑥場所

[2] A4縦、横書、左右上下2cm空け、10ポイント程度。

⑪ データファイル

「8. データファイルの提出」を参照。

なお、提出後の書類・データの差し替えは原則受け付けない。

8. データファイルの提出

(1) 提出媒体はクラウドストレージ「Box」とし、次の(2)のデータを以下リンク先へ格納する。

提出先：<https://nagoya-cu.app.box.com/f/1663c3aadde14e1687af0d57ef6e576c>

(2) 提出内容

ア 1 「履歴書」をWord形式で、
2 「学位論文」、3 「論文内容の要旨」、4 「Abstract」（「(3)Abstractについて」を参照）の3点をそれぞれPDF形式で保存すること

イ ファイル名は次のとおりとする

【ファイル名】

- 〇〇（××：履歴書）
- 〇〇（××：学位論文）
- 〇〇（××：論文内容の要旨）
- 〇〇（××：Abstract）

※〇〇には氏名を、××には所属分野を記入すること

[例 ⇒ 山田太郎（消化器・代謝内科学：学位論文）]

(3) Abstract について

平成25年度以降、学位論文（全文）を従来の「印刷公表」から「インターネットを利用する方法」（本学 Website：学術機関リポジトリ）で公開している。ただし、医学研究科博士課程の学位論文は欧文学術誌への掲載が必須となっており、出版社等の他社に著

著作権が帰属する内容が含まれることから全文を公開することができないため、「論文の要約」を公開することとなる。「論文の要約」は和文・英文それぞれ必要で、和文は論文内容の要旨を公開するが、英文については学位論文の Abstract を一部修正したものを公開する。(著作権の観点から同一のものは公開できないため、多少の手直しが必要となる。) Abstract の修正方法は、下記ア～エのうち一つを用いて修正すること。

【Abstract の修正方法】

- ア Structured の Abstract を Unstructured に変更する (あるいは逆)
- イ Abstract 中に文献を引用する
- ウ Abstract 中の文章を一部変更する
- エ Introduction の一部を Abstract に挿入する

9. 学位審査料

(1) 博士の学位の授与を申請する者は、学位授与申請書に学位論文、附属書類及び学位審査料 36,000 円を添えて、当該研究科長を経て学長に提出しなければならない。

ただし、本学大学院研究科博士課程に所定の期間在学し、所要の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者(学位論文について審査を受けたが、その審査に合格しなかった者を除く。)であって本学を退学した者が、再入学をしないで博士の学位の授与を申請する場合の学位審査料は、退学後 1 年以内に論文を提出するときにあつては、これを免除する。(学位規定第 4 条-2)

※実際には申請書類の受理後に医学部事務課より請求書を発行し、申請者に送付する。

10. 学位審査終了後

(1) 博士学位論文公開申請書 (留保)

[医学研究科オリジナルウェブサイト](#)からダウンロード、印刷し、必要事項を記入のうえ、医学部事務課大学院担当 (med-daigakuin@sec.nagoya-cu.ac.jp)宛にメール添付にて提出すること。

(2) 学位授与報告書

学位授与報告書は、論文審査委員会主査から医学部事務課大学院担当に提出する。

【提出方法】

件 名 : 「学位授与報告書 (氏名)」

提 出 先 : 医学部事務課大学院担当 (med-daigakuin@sec.nagoya-cu.ac.jp)

提出書類 : 学位授与報告書 (報告番号、教授会議決日、授与年月日は記載しないこと)

提出された報告書は教授会の審査に付される。

(問い合わせ先)

名古屋市立大学 医学部事務課 大学院担当 (医学部研究棟 1 階)

電話番号 : 052-853-8545

メー ル : med-daigakuin@sec.nagoya-cu.ac.jp